

事務事業評価票

番号	枝番号	事務事業名 自然学校推進事業(小学校)	部名 教育委員会	課名 学校教育課	所属長名 森本寿文
基本事項	基本政策	03 ところ豊かな人が育ち、いきいきと活躍できるまち(教育・文化・スポーツ)	財務科目	会計	01 一般会計
	政策	01 人間力を培う教育環境の充実		款	10 教育費
	施策	01 基礎・基本教育の充実と質の高い学習の展開		項目	01 教育総務費
				目	03 教育指導費
<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度		事業開始年度: 昭和63年度	完了予定年度: 未定年度	<input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> 臨時	

事業の対象(誰に対して・何に対して) 西脇市立小学校に在籍する5年生	事業の目的(どういう状態にしたいのか) 児童が人や自然、地域社会とふれあい、様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断・行動し、よりよく問題を解決する力や生命に対する畏敬の念、感動する心や共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成する。
事業の内容(目的達成のための手段・方法)	
学校を離れ、施設に宿泊し、周辺の自然についての学習や日常生活では味わえない体験活動などを行う。 例: 自然観察、自然素材に使ったクラフト、飯ごうすいさん、キャンプファイヤー、カヌー・カッター体験、乳搾り体験、登山・ハイキング、オリエンテーリング、地域との交流 など	
補助・単独: <input checked="" type="checkbox"/> 国・県の補助金有り <input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 義務実施事業 根拠法令要綱等 <input checked="" type="checkbox"/> 努力義務実施事業 根拠法令要綱等 「自然学校推進事業実施要項」(県) <input type="checkbox"/> 任意実施事業 根拠条例等 <input type="checkbox"/> 市単費上乗せ(または の場合) 根拠条例等	
正規職員が関与すべき法的義務性 <input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (該当業務:) 法令名・根拠条文:	
実施形態: <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助・負担金 <input type="checkbox"/> その他() 委託の場合: <input type="checkbox"/> 入札 <input type="checkbox"/> 随意契約(契約先:)	

総合計画・行動計画 施策シート

優先度

A B C

展開方針 (年度別の事業内容)	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	以降
	総事業費	千円	千円	千円	千円
平成22年度の実施内容・成果			平成22年度の実施内容・計画どおり実施できなかった理由		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> おおむね計画どおり進んでいる。 <input type="checkbox"/> 着手しているが、計画よりも遅れている <input type="checkbox"/> 計画どおり着手していない。 <input type="checkbox"/> 完了・達成(計画事業の終了)					
確認項目			市長指示事項等		
<input type="checkbox"/> 総合計画対象事業 <input type="checkbox"/> 市長公約・懸案事項 <input type="checkbox"/> 議会確認事項					
企画政策課 意見					
			行動計画掲載 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C		

		単位	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
事務事業データ	事業費(予算額または見込額) (A')	千円	5,790	6,136	6,109	5,609	5,635
	特定財源		2,931	3,052	3,054	2,593	2,817
	一般財源		2,859	3,084	3,055	3,016	2,818
	事業費(決算額) (A)		5,769	6,121	5,743	5,478	
	特定財源		2,882	3,052	2,923	2,739	
	一般財源		2,887	3,069	2,820	2,739	
一般職員所要人員 (B)	人	0.06	0.06	0.06	0.05		
一般人件費[平均給与×(B)] (C)	千円	475	475	475	396		
総コスト[(A)+(C)] (D)	千円	6,244	6,596	6,218	5,874		
受益者負担額 (E)	千円	0	0	0	0		
受益者負担率[(E)/(D)] (F)	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		

【1次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
活動指標	名称	実施グループ数	5グループ	5グループ	5グループ	5グループ
	実績値	5グループ	5グループ	5グループ	5グループ	
	説明	自然学校を実施するグループ数	単価 1,249千円	1,319千円	1,244千円	1,174千円
			達成度 100%	100%	100%	100%
(目標)	名称					
	実績値					
	説明					
成果指標	名称	参加児童数	480人	488人	461人	451人
	実績値	478人	487人	460人	451人	442人
	説明	自然学校に参加した児童数	単価 13,060円	13,540人	13,520円	13,024円
			達成度 99.6%	99.8%	99.8%	100%
(目標)	名称					
	実績値					
	説明					
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	4
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	2
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	教育基本法の改正や学習指導要領の改訂においても、体験活動の重要性が述べられる状況にあり、自然学校中の体験活動は、学校では得難い体験活動であること、また、そこでの集団活動を通じて、児童の社会性や自立性が養われていることから、児童の「生きる力」を育成する一端を担っていると考えます。				
	改善策	自然学校での体験活動をその場限りの活動で終わらせず、事前・事後学習を充実させることにより、さらに効果的な体験活動にしていく。				

【2次評価】

評価実施:平成22年度

		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
評価ポイント	事業の優先度(緊急性)	3	事業の必要性	2	実施主体の妥当性	4
	直接のサービスの相手方	2	受益者負担の適切さ	4	市民ニーズの把握	2
総合評価	評価結果	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止				
	判断理由	県教育委員会が重点施策に挙げている事業の一つであり、県内公立小学校ですべて実施されている。5年生の児童が保護者のもとを離れ、自然の中での集団生活及び体験活動を通じて、社会性を磨き自立性を養うことが可能となり、豊かな人間形成に大きく寄与するものである。				
	改善策	さらに児童が4泊5日の間、家を空けることにより、保護者にとっても家庭・家族のあり方について考える良い機会となっている。また、事業費についても県の補助限度枠の8割程度に抑えられており、適正に執行されていると判断する。				

【3次評価】

総合評価	評価結果	
	判断理由	
	改善策	